

経営比較分析表（令和6年度決算）

埼玉県 加須市

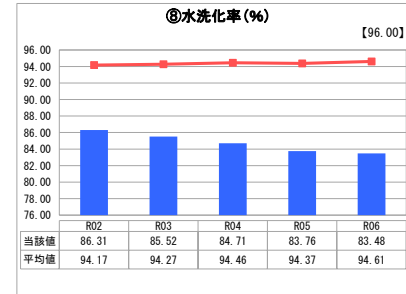
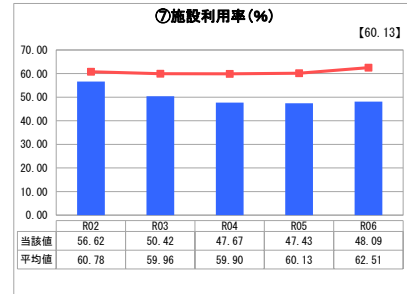
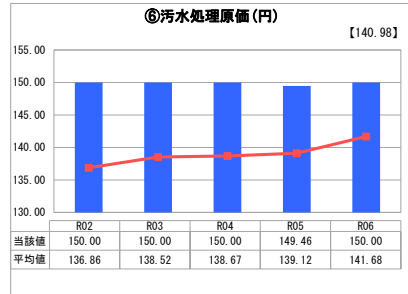
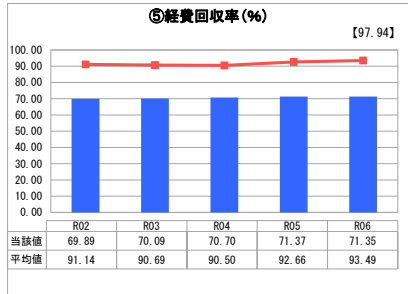
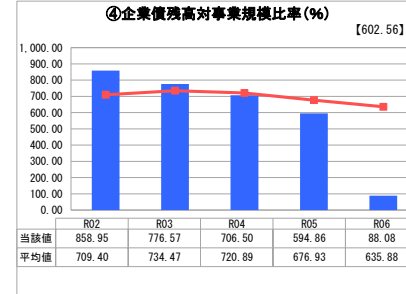
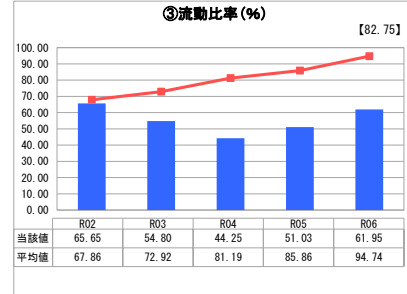
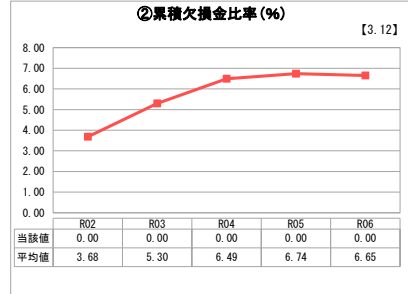
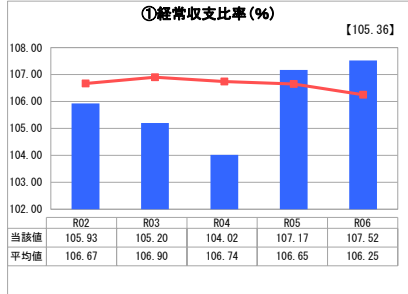
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bc1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	66.56	52.72	93.85	1,952

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
112,018	133.30	840.35
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
58,961	10.63	5,546.66

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

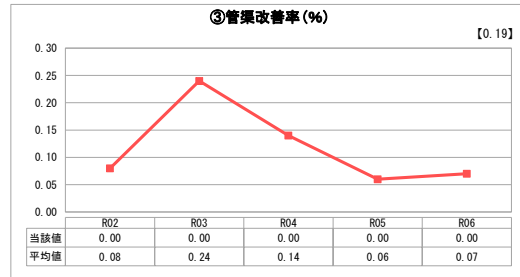
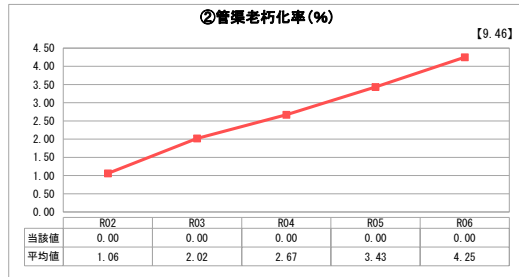
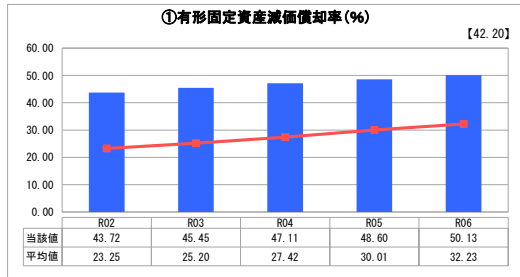
1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は100%を上回り、類似団体、全国平均値を共に上回ったが、一般会計からの繰入金に依存している状態である。
 ②流動比率は100%を下回っているが、資本費標準化債の発行等、計画的な資金調達を行い対応している。
 ③企業債残高対事業規模比率は前年度と比較して50%近く下がっており、類似団体平均値と比較しても低くなっている。今後も企業債の借入れには、償還額を超えない範囲での借入を実施し、着実な企業債残高の圧縮に努めていく必要がある。
 ④経費回収率が100%を下回っているのは、使用料単価が低く、適切な下水道使用料が確保できていないことによるが、維持管理費の削減や加入促進に努め、改善を図る必要がある。
 ⑤類似団体平均を上回っている。費用の削減について検討をし、汚水処理原価を現状よりも抑えられるように努めていく。
 ⑥施設利用率は類似団体平均値を下回っているが、これは現在も新規供用を続けているため、増加する処理水量に対応するためである。
 ⑦水洗化率は類似団体平均値を下回っているが、これは新規供用を続けているためである。今後も特に新規供用地区で普及促進に努め、水洗化率向上を目指していく。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は、類似団体平均値を上回っている。法定耐用年数を経過した管渠が出てきたこと、それに近づきつつある管渠も多い。また、処理場・ポンプ場の資産は、法定耐用年数の短い機械設備が多い。以上のことから、減価償却費がかさむ傾向にある。類似団体よりも資産の老朽化が進んでいるが、修繕等適正な維持管理を行い機能を確保している。
 ②管渠老朽化率、③管渠改善率については、法定耐用年数を経過した管渠があり、布設後40年以上を経過しているものも多いため、今後老朽化対策が必要となる。

2. 老朽化の状況



全体総括

一般会計からの繰入金に依存した経営状態となっていることから、下水道使用料収入を確保するため、未接続世帯に対する加入促進活動の実施等、未接続率の向上を図り、赤字補填のための基準外繰入金を削減することで、事業運営の健全化に努めている。
 また、今後見込まれる施設の老朽化に対しては、経営状態に配慮した合理的な更新投資を計画する。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。